



## 2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東  
 コード番号 3690 URL https://www.yrglm.co.jp  
 代表者（役職名）代表取締役（氏名）岩田 進  
 問合せ先責任者（役職名）執行役員経営管理本部長（氏名）赤澤 洋樹 TEL 03(3289)5051  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年9月期第1四半期の連結業績（2019年10月1日～2019年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	585	12.7	24	—	25	—	19	—
2019年9月期第1四半期	519	20.0	△26	—	△29	—	△36	—

（注）包括利益 2020年9月期第1四半期 19百万円（—％） 2019年9月期第1四半期 △36百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	3.04	3.03
2019年9月期第1四半期	△5.72	—

（注）2019年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	2,515	1,080	42.9
2019年9月期	2,064	1,061	51.4

（参考）自己資本 2020年9月期第1四半期 1,080百万円 2019年9月期 1,061百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めておりますが、現時点では2020年9月期の期末配当予想額は未定であります。配当予想額が決定した時点で速やかに公表する予定です。

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	22.5	200	135.5	190	140.4	130	—	20.72

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は2020年1月17日の取締役会において自己株式の処分を決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	6,372,415株	2019年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	81,825株	2019年9月期	81,423株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	6,290,724株	2019年9月期1Q	6,349,248株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場につきましては、アドテクノロジーの進化を背景にした運用型広告がインターネット広告市場全体を牽引し、2018年のインターネット広告費は前年比116.5%の1兆7,589億円（株式会社電通「2018年日本の広告費」）と5年連続で二桁増と引き続き高い成長を示すとともに、総広告費に占める媒体構成比も前年から3.3ポイント増の26.9%となり、広告市場のインターネットシフトのトレンドが続いております。

一方、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場につきましても企業のECビジネス展開が伸長し、2018年国内BtoC EC（消費者向け電子商取引）市場は前年比109.0%の18.0兆円まで拡大しており（経済産業省「平成30年我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しており、伸びしろが大いにある分野であります。

このような良好な事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は585,488千円（前年同期比12.7%増）、営業利益は24,786千円（前年同期は26,834千円の営業損失）、経常利益は25,071千円（前年同期は29,661千円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は19,098千円（前年同期は36,310千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

## （マーケティングプラットフォーム事業）

当事業は、デジタルマーケティング領域において、マーケティング効果測定プラットフォーム「AD EBiS」や分析レポート自動作成サービス「アドレポ」等を提供する事業であります。「AD EBiS」は広告効果測定システムを基盤としたマーケティング統合環境を提供するサブスクリプション型のサービスであり、広告効果測定市場において4年連続シェアNo.1（株式会社アイ・ティ・アール「ITR MarketView：メール/Webマーケティング市場2018-2019」広告効果測定市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2018年度予測））を獲得しております。

当第1四半期連結累計期間においては、昨今のプライバシー保護のニーズにも配慮しながら精度の高い広告効果測定が可能な新しい計測方法「CNAMEトラッキング」のサービス提供を開始いたしました。プライバシーに関わるデータの取扱いの厳格化の観点からブラウザ各社でもCookieを用いたトラッキングを制限する動きが強まっていますが、そのような環境下においても正確な効果測定を実現するもので、今後の企業のマーケティング活動には必須であり、「AD EBiS」利用促進に寄与することを期待しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は523,701千円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益は15,855千円（前年同期は21,389千円のセグメント損失）となりました。

## （商流プラットフォーム事業）

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」を提供する事業であります。「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者からマージン収入を得るというエコシステムを構築しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は61,787千円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は8,931千円（前年同期は5,444千円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## （資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ451,406千円増加し、2,515,750千円となりました。主な要因は、「AD PLAN」事業取得対価の支払に係る前渡金が315,000千円増加したことや、借入等により現金及び預金が99,231千円増加したこと等によるものであります。

## （負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債については、前連結会計年度末と比べ432,239千円増加し、1,435,438千円となりました。主な要因は、借入により一年内返済予定の長期借入金が100,008千円、長期借入金が343,361千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末と比べ19,167千円増加し、1,080,312千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益19,098千円の計上によるものです。この結果、自己資本比率は42.9%（前連結会計年度末は51.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、通期の業績予想を以下のとおりといたします。

	金額	対前期増減率	(参考) 前期連結実績
	百万円	%	百万円
売上高	2,700	22.5	2,204
営業利益	200	135.5	84
経常利益	190	140.4	79
親会社株主に帰属する当期純利益	130	—	△34

売上高につきまして、マーケティングプラットフォーム事業における主力サービスである「AD EBiS」の成長と事業譲受による増収を見込んでおりますが、公表しております中期経営目標である売上高30億円には未達となる見込みです。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、新規サービス開発のための投資を行っていく方針ですが、売上の増加と既存サービス運営の効率化により前年比増益となる見込みです。

※本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	773,642	872,874
売掛金	271,133	294,657
前渡金	—	315,000
前払費用	78,625	89,582
その他	19,084	22,921
貸倒引当金	△540	△600
流動資産合計	1,141,945	1,594,435
固定資産		
有形固定資産		
建物	92,663	92,663
減価償却累計額	△68,152	△70,377
建物(純額)	24,511	22,286
工具、器具及び備品	218,706	219,060
減価償却累計額	△164,094	△170,566
工具、器具及び備品(純額)	54,612	48,493
有形固定資産合計	79,123	70,780
無形固定資産		
のれん	109,240	105,339
ソフトウェア	386,540	471,022
ソフトウェア仮勘定	86,716	19,012
その他	7,735	7,626
無形固定資産合計	590,233	603,001
投資その他の資産		
投資有価証券	39,124	40,085
長期前払費用	24,152	21,101
繰延税金資産	93,873	88,588
差入保証金	95,333	97,118
その他	2,184	2,265
貸倒引当金	△1,625	△1,625
投資その他の資産合計	253,041	247,533
固定資産合計	922,398	921,315
資産合計	2,064,344	2,515,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,770	9,409
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	199,852	299,860
未払金	134,294	136,397
未払法人税等	22,975	7,437
預り金	33,542	39,684
賞与引当金	18,602	9,216
その他	5,043	8,621
流動負債合計	822,079	910,626
固定負債		
長期借入金	142,001	485,362
賞与引当金	1,718	2,049
資産除去債務	37,400	37,400
固定負債合計	181,119	524,811
負債合計	1,003,199	1,435,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	308,043	308,043
利益剰余金	536,879	555,977
自己株式	△100,071	△100,071
株主資本合計	1,062,917	1,082,015
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,772	△1,703
その他の包括利益累計額合計	△1,772	△1,703
純資産合計	1,061,144	1,080,312
負債純資産合計	2,064,344	2,515,750

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	519,548	585,488
売上原価	176,035	178,769
売上総利益	343,513	406,718
販売費及び一般管理費	370,347	381,932
営業利益又は営業損失(△)	△26,834	24,786
営業外収益		
投資有価証券評価益	681	424
持分法による投資利益	1,941	536
その他	432	399
営業外収益合計	3,055	1,361
営業外費用		
支払利息	741	819
長期前払費用償却	4,658	233
その他	483	22
営業外費用合計	5,883	1,076
経常利益又は経常損失(△)	△29,661	25,071
特別損失		
固定資産除却損	11,492	—
特別損失合計	11,492	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△41,154	25,071
法人税、住民税及び事業税	588	688
法人税等調整額	△5,431	5,284
法人税等合計	△4,843	5,972
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,310	19,098
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,310	19,098



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,310	19,098
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△589	68
その他の包括利益合計	△589	68
四半期包括利益	△36,899	19,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,899	19,167
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	460,089	59,458	519,548	—	519,548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	460,089	59,458	519,548	—	519,548
セグメント損失(△)	△21,389	△5,444	△26,834	—	△26,834

(注) セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティングプラットフォーム事業」セグメントにおいて、2018年10月1日付で株式会社EVERRISEよりアドレポ事業を吸収分割の方法により承継いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては120,945千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	523,701	61,787	585,488	—	585,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	523,701	61,787	585,488	—	585,488
セグメント利益	15,855	8,931	24,786	—	24,786

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

事業譲受について

当社は、2020年1月1日付で、株式会社オプトから広告効果測定ツール「ADPLAN」を提供する事業を譲り受けました。

1. 事業譲受の概要

(1) 事業譲受の内容

広告効果測定ツール「ADPLAN」の提供

(2) 相手先の名称及び事業内容

相手先の名称	株式会社オプト
事業の内容	マーケティング事業

(3) 事業譲受の主な理由

当社は主力のマーケティングプラットフォーム事業において、国内有数のシェアを誇る広告効果測定ツール「AD EBIS」を提供しております。同じく広告効果測定ツールを提供する株式会社オプトの「ADPLAN」事業を譲り受けることにより、広告効果測定領域における市場競争力を強化することができることから、今回の合意に至ったものであります。

(4) 事業譲受日

2020年1月1日

(5) 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

2. 事業譲受の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	315,000千円
取得原価		315,000千円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 2,820千円

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 譲受資産及び負債の額並びにその主な内訳

譲受資産については現時点では確定しておりません。譲受負債については該当事項はありません。